

事業所名

門真市立こども発達支援センター
(通園グループ)

支援プログラム

作成日

年

月

日

法人（事業所）理念		<p>【晋栄福祉会】情熱をもち行動する 前進と振り返り、時に回り道もある、あらゆる工夫で、いろいろな方法で、よくコミュニケーションをとり連携する すべては地域に住む人々と自らの幸福と福祉のために</p> <p>【治栄会】「すべての人たちが すべてのことに感謝でき 和やかで楽しい日々と まろやかで幸せな人生を おくれますように 念じております」を掲げ、すべての人の幸せを職員とともに追求する日々を重ねております。</p> <p>【愛光会】地域に対し総合的な医療・福祉支援システムを作り、利用者をどんなに重い障がいがあろうとも挑戦していく人と位置付け、利用者にとってごく普通の当たり前の生活を支援することに努めてまいります。</p>								
支援方針		<p>①『気になる段階』からの早期支援：こども健やかな成長のためには身心の発達が目覚ましい乳幼児期に、「より良い環境」を整え、適切に療育を進めることが重要といえます。そのことから、保健・医療・福祉・教育等の関係期間や地域と密着に連携し、「気になる段階」から支援に努めてまいります。</p> <p>②的確なアセスメントに基づいた療育：発達の気になる子どもの一人ひとりの個性やニーズを的確に把握し、可能性を最大限に伸ばすことができる療育を目指します。さらに施設の持つ専門性を地域に還元し、地域療育の支援につなげていきます。</p> <p>③こどもと家族のエンパワメント支援と、ライフステージに応じた一貫性のある支援：発達の気になるこどもやその家族が、その能力や生きる力を発揮し、主体的に社会生活が営めるよう、こどもの「自ら伸びる力」と保護者の「こどもの育ちを支える力」を引き出す支援を行います。合わせて、地域で意欲ある生活が送れるよう、障がい児支援の啓発を行い、地域の理解を高めるための活動に努めていきます。そして発達の気になるこどもがこころの豊かな地域生活を送れるよう、各関係機関と協同・連携し、こどものライフステージ全般を見通した総合的な支援につなげていきたいと考えます。</p>								
営業時間		8 時	30 分	から	17 時	0 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	子どもの心身の健全な成長を促進するため、日常生活の基本的な習慣やスキルを育む取り組みを行います。具体的には、バランスの取れた食事や規則正しい生活リズムの確立を支援し、体を動かす遊びや運動の機会を提供します。また、清潔や衛生習慣の実践を通じて自己管理能力を向上させます。さらに、感覚統合を促す活動やリラクゼーションを取り入れ、ストレスケアを行うことで、子どもの健康的な生活を送る基盤を整えます。								
	運動・感覚	運動・感覚支援では、子どもの発達段階や個別のニーズに応じたプログラムを実施します。感覚統合療法を基づき、バランスボールやトランポリンを活用した運動遊びで体幹や筋力を強化し、感覚の調整を促進します。また、指先の巧緻性を高めるための手作業や、触覚・聴覚を刺激する遊びを取り入れ、感覚の過敏さや鈍感さを整えます。これにより、身体機能の向上や自己調整能力の育成を目指し、子どもの社会的・情緒的発達をサポートします。								
	認知・行動	認知面および行動面の発達を支援するため、言語や記憶力を育む認知トレーニングや、ルール理解や感情コントロールを促進する社会性プログラムを提供します。また、遊びや体験活動を通じて問題解決能力や集中力を養い、日常生活における自立を支えます。さらに、保護者への助言や家庭での取組みの支援を通じて、家庭と連携した包括的な成長につながるサポートをします。								
	言語コミュニケーション	言語力およびコミュニケーション力の向上を目的に、言語療法や非言語的な手法（絵カード、ジェスチャーなど）を活用した支援を行います。また、他者とのやり取りを練習する社会性の強化活動や、歌や絵本を通じた言語力の育成プログラムを提供します。さらに、家庭でのコミュニケーションの向上を図るため、保護者と密に連携し、支援を進めます。								
	人間関係社会性	集団遊びを通じて協力や順番を待つ力を育み、ロールプレイを用いてコミュニケーションスキルを向上させます。感情表現や共感力を学ぶための対話や絵本の活用を行い、適切な自己表現や社会的ルールの理解を促します。また、個別支援計画を立て、子どもの特性に応じたサポートを実施し、安心できる環境の中で社会性の発達を支援します。								
家族支援	家族支援では、保護者への個別相談やアドバイスを提供し、育児ストレスの軽減を図るプログラムを提供します。家庭での対応方法に関する支援や地域資源の活用方法を提案し、家族全体が安心して子どもの成長を支えられる環境づくりを支援します。また、定期的な家族向け交流イベントや研修会を開催し、保護者同士のネットワーク形成も促進します。				移行支援		発達遅れや障がいのある子どもへの個別支援や集団活動を通じて、生活スキルや社会性の向上を図ります。保育園・幼稚園・就学に向けて、より小集団での活動経験を積むことにより、より大きい集団への移行を支援します。			
地域支援・地域連携	地域支援・地域連携においては、子どもの健やかな成長を支えるための専門的な支援を提供します。保護者、学校、医療機関と連携し、療育や生活支援を実施します。また、相談窓口を設けて多方面からの支援を行います。さらに、地域での啓発活動を通じて、発達特性に対する理解を深め、包括的な社会環境の構築を目指します。				職員の質の向上		内部研修や外部研修への積極的な参加を推進し、職員の専門性向上を図ります。公開療育やケース検討会議を定期的実施し、職員間の情報共有やスキルアップを促進します。また、支援の質を向上させるため、最新の知見や実践方法を導入します。			
主な行事等	4月始業式 6月保護者参観 7月サマーフェスティバル 10月秋の遠足 11月保護者参観・いもほり・秋のふれあいまつり 12月クリスマス会 2月お楽しみ会 3月卒園式									